学校番号	1011

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)ペン習字入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	硬筆レッスン帳　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、ペン習字入門では美しく見える線質・文字造形および紙面構成について学びましょう。
・ボールペンから入り、最終的には筆ペンを用い、筆の弾力を活かし、美しい文字を書けるようになることをめざします。
・日常から美しく文字を書くことを啓蒙し、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

日常生活を含む幅広い書活動における多様性や形式への理解を深めるとともに､文字を正しく美しく書くための資質・能力をはぐくむ。
(1)用具によって異なる特性を理解し、適切な用法で扱うことができるとともに、点画の書き方や字形の整え方などの基本的な技能を、実践や鑑賞を通して習得する。
(2)書活動において、目的や意図に即した表現方法を自ら思考・判断し、表現することができる。
(3)書活動に関する幅広い活動に対して主体的に取り組み、関心・意欲を持って向き合うことができるとともに、制作活動において、創意工夫を凝らしたり互いに鑑賞したりすることで学びを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・用具によって異なる特性を理解し、適切な用法で扱うことができる。 ・点画の書き方や字形の整え方などの基本的な技能を、実践や鑑賞を通して習得する。	・書活動において、目的や意図に即した表現方法を自ら思考・判断し、表現することができる。	・書活動に関する幅広い活動に対して主体的に取り組み、関心・意欲を持って向き合うことができる。 ・制作活動において、創意工夫を凝らしたり互いに鑑賞したりすることで学びを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	楷書	・楷書字形のまとめ方	a:歴史的に存在する様々なフォントについて理解し、なぜ存在するのか理解している。（知） a:一点・一画の方向、間隔によって文字に様々な表情が出ることを理解し、表現しようとしている。（知・技） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をし、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（主） c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察
2学期						

	行書	・行書字形のまとめ方	a:小・中学校で習う筆順と歴史上ある様々な筆順を学び、文字を整えて書くために合理的な筆順を理解し、書くことができる。（知・技） a:点画の変化と統一によっても文字には様々な表情が出ることを理解し、表現しようとしている。（知・技） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をし、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（主） c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

3 学 期	新毛筆で書く	・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・意図に基づき、漢字（楷書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。（技） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、現代に生きる表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:自身の表現の意図に基づく表現、新毛筆を用いた書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度